

第43回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫
開催要項・競技実施要項(案)

2016年5月21日(土)～22日(日)

予備日： 5月29日(日)

主 催：近畿ろうあ連盟

主 管：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

第43回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫 開催要項(案)

1. 目的 近畿地区のろうあ者がスポーツを通じて技を競い、健康な心体を養い、自立と社会参加を促進し、併せて国民のろう者に対する正しい理解を深めるために開くものである。
2. 大会名称 第43回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫
3. 大会期間 2016年(平成28年)5月21日(土)～22日(日)
予備日 2016年(平成28年)5月29日(日)
4. 競技内容 第69回軟式野球競技 第55回卓球競技
第53回バレーボール競技 第36回テニス競技
第32回ゲートボール競技 第26回ボウリング競技
フットサル競技(オープン競技)
5. 主催 近畿ろうあ連盟
6. 主管 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
第43回近畿ろうあ者体育大会実行委員会
7. 競技主管(予定) 兵庫県軟式野球連盟 兵庫県卓球協会 兵庫県バレーボール協会
兵庫県テニス協会 兵庫県ゲートボール連合 兵庫県ボウリング連盟
一般社団法人兵庫県サッカー協会
8. 後援(予定) 兵庫県 神戸市 西宮市 尼崎市 芦屋市 兵庫県教育委員会
神戸市教育委員会 西宮市教育委員会 尼崎市教育委員会
芦屋市教育委員会 公益財団法人兵庫県体育協会 神戸市体育協会
西宮市体育協会 尼崎市体育協会 芦屋市体育協会
公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会
社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会
公益財団法人兵庫県身体障害者福祉協会
兵庫県聴力言語障害者連合会
社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
公益財団法人神戸新聞厚生事業団
兵庫県立神戸聴覚特別支援学校 兵庫県立神戸聴覚特別支援学校同窓会
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校同窓会
9. 協力(予定) 兵庫手話通訳問題研究会 兵庫手話サークル連絡会

10. 監督主将会議 2016年5月8日(日)午後1時30分～4時00分
兵庫県立総合体育館 3階研修室

11. 大会日程及び各競技会場

5月21日(土)	5月22日(日)	競技	会場
10:00～ 11:00		開会式	兵庫県立総合体育館
13:00～ 17:00	9:00～ 17:00	第69回軟式野球競技	橘公園軟式野球場
		第55回卓球競技	兵庫県立総合体育館
		第53回バレーボール競技	兵庫県立総合体育館
		第36回テニス競技	ベイコムテニスコート
		第32回ゲートボール競技	大庄公園
		第26回ボウリング競技	神戸六甲ボウル
13:00～ 19:00			
15:00～ 19:00		フットサル競技(オープン競技)	芦屋市立体育館

5月29日(日) 予備日

※ゲートボール競技は、雨天の場合『中止』とします。

9:00～17:00	第69回軟式野球競技	橘公園軟式野球場
9:00～17:00	第36回テニス競技	尼崎市記念公園

12. 競技規則 別紙「競技実施要項」による

第43回近畿ろうあ者体育大会 in 兵庫 競技実施要項(案)

1. 趣旨

近畿ろうあ者体育大会は、近畿地域在住のろうあ者の間にスポーツを振興して、その普及発展と民主的なスポーツ精神の高揚を図り、あわせてろうあ者の健康を増進し、その生活を明朗にしようとするものである。この趣旨にのっとり、盛大かつ友好的な大会にすべく鋭意努力する中で、初期の目的の達成を期して本「競技実施要項」を定めるものである。

2. 実施方針

- ①本大会は、軟式野球、卓球、バレーボール、テニス、ゲートボール、ボウリングの6競技を行う。
また、オープン競技としてフットサルを採用する。
- ②団体競技については、バレーボール2チーム以上（男女別）、ゲートボール3チーム以上、軟式野球は全国体育大会近畿ブロック代表権獲得のため2チーム以上で実施可能とする。但し、軟式野球1チームの場合は実施しないものとし、代表権を与える。以上の参加申込をもって実施する。
- ③個人競技については、次の通り実施要件を定める。
卓球、ボウリングは30人以上（男女合計）、テニスは20人以上（男女合計）それぞれ近畿ろうあ連盟加盟団体会員の参加申込をもって実施する。上記実施要件に満たない場合は、その競技は実施しない。
- ④前項②③にもとづく競技の実施可否は、予備エントリー及び正式参加申込の結果によって決定する。
- ⑤予備エントリーについては、2015年9月24日に近畿ろうあ連盟加盟団体あてに、案内書及び回答書を送付し、2015年10月30日に申し込みを締め切るものとする。
- ⑥本大会は、雨天の場合も原則として決行するが、競技場の状態等により決行不能の場合は延期とし、予備日（2016年5月29日）に行う。
- ⑦競技規則は、本競技実施要項内「10.各競技実施要項」のとおりとする。

3. 大会参加資格

- ①役員は、近畿ろうあ連盟加盟団体の会員で近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めた者。また、連盟加盟団体の会員でない健聴者の監督・コーチ等で、定められた大会参加料及び近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めた者。個人参加申込書及び競技別申込書にその旨を明記すること。
- ②選手は、全日本ろうあ連盟及び近畿ろうあ連盟加盟団体の16歳以上の会員で定められた大会参加料及び近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めた者。
- ③連盟加盟団体の会員でない聴覚障害者の高校生で定められた大会参加料及び近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めた者。個人参加申込書及び競技別申込書に学校名、在学年を明記すること。
- ④団体競技は、近畿ろうあ連盟加盟団体から1競技につき複数チームが参加できる。

4. 大会参加申込の方法

- (ア) 所定の個人参加申込書、参加誓約書、競技別参加申込書に参加料（後項の力）及び登録料（後項のウ）を添え、**2016年4月4日（月）必着**で、所属する協会体育部長に送付する。
- (イ) 所属協会体育部長は、参加申込総括書に必要事項を記入の上、(ア)の各種申込書を含めて協会公印を捺印し、**2016年4月10日（日）必着**で、実行委員会事務局宛へ送付する。所属協会体育部長はその控えのコピーを保管すること。

(ウ) 近畿ろうあ連盟体育部登録料

登録料は一人につき 1,000 円とし、各協会体育部長及び近畿ろうあ連盟体育部役員、監督、コーチ、選手全員が大会参加申込時に登録料を納めなければならない。大会参加申込締切日以降（前項 4 のア）は、理由の如何にかかわらず返金しない。

(エ) 各協会体育部長が、指定の登録申請書を作成し、競技別に 001 から通し番号で記入する。

(オ) 登録申請書は 1 通ごとに協会公印を捺印し、大会開催日までに近畿ろうあ連盟体育部事務局長へ送付する。登録料は近畿ろうあ連盟体育部会計部長に納めるものとする。

(カ) 大会参加料については、競技および種目別に次表のとおりとし、参加申込の時に実行委員会へ納めるものとする。大会参加申込締切日以降（前項 4 のア）は、理由の如何にかかわらず返金しない。

	競技	一般	高校生
個人参加料	軟式野球・卓球・バレーボール・ゲートボール・フットサル	3,500円	2,000円
	テニス	4,000円	2,500円
	ボウリング	9,000円	7,500円
団体参加料	軟式野球／1チーム	9,000円	減免対象外
	卓球／男女別1チーム	5,000円	減免対象外
	バレーボール／男女別1チーム	5,000円	減免対象外
	ゲートボール／1チーム	5,000円	減免対象外
	ボウリング／男女別1チーム	2,000円	減免対象外
	フットサル／男女別1チーム	オープン競技の為免除	オープン競技の為免除
ダブルス戦	卓球／1組	2,500円	減免対象外
	テニス／1組	3,000円	減免対象外

- ① 卓球、テニスのシングルス戦に出場しない場合でも個人参加料を納めなければならない。
- ② 卓球、テニスのダブルス戦については、1協会からの参加選手が奇数の場合は、他府県加盟団体(協会)の選手と組むことが出来る。但し、その場合はそれぞれの選手がダブルス組み合わせ同意書に必要事項を記入の上、所属協会体育部長へ送付し、体育部長は協会公印を押印のうえ、一括参加申込締切日（前項 4 のイ）までに実行委員会事務局に提出しなければならない。（ダブルス組み合わせ同意書の形式は別掲の様式 5 の通り）
- ③ ダブルス戦参加料はそれぞれの選手の折半とし、卓球は 1 人当たり 1,250 円、テニスは 1,500 円とする。
- ④ 団体参加料は、選手、チームが所属する協会が負担する。

5. 監督主将会議

- ① この会議において、大会の組合せ抽選会等を行なう。
- ② この会議には、各競技の審判長も同席し、技術員及び実行委員と事前打合せを行なうこと。
- ③ 監督、主将がともに無断欠席したチームは、原則として出場を棄権したものとみなす。
- ④ やむを得ず代理人が出席する場合は監督または主将が作成した代理届（別掲の様式 3）を監督主将会議の前日までに所属する協会体育部長を通して実行委員会事務局に提出しなければならない。
- ⑤ 出席者は、必ずスポーツマンに相応しい服装で出席すること。

6. 組合せ抽選について

競技名	種目名	監督・主将会議で行う	審判長立会いで行う	備考
軟式野球	団体戦	○	○	
卓球	団体戦	○	○	男女とも前回優勝、準優勝チームはシードする
	シングルス戦	○	○	男女とも前回ベスト4までシードする
	ダブルス戦	○	○	男女とも前回優勝、準優勝チームはシードする
バレーボール	団体戦	○	○	
テニス	シングルス戦	○	○	
	ダブルス戦	○	○	
ゲートボール	団体戦	○	○	
ボウリング	団体戦	○	○	
	個人戦	—	○	
フットサル	団体戦	○	○	

7. 選手変更について

- ① 選手または監督・コーチの変更がある場合は、各競技とも監督主将会議開始時間までに、選手または監督・コーチ変更届（別掲の様式1、または様式2）および個人参加申込書及び参加誓約書、大会参加料、登録料を添えて所属する協会体育部長へ提出すること。
- ② 団体競技による選手追加の場合は、各競技とも監督主将会議開始時間までに、選手追加届（別掲の様式4）に個人参加申込書及び参加誓約書、大会参加料、登録料を添えて所属する協会体育部長へ提出すること。但し、個人戦の選手追加は認めない。
- ③ 所属協会体育部長は、受理した様式を速やかに実行委員会事務局に提出するとともに、控えのコピーを保管すること。
- ④ 事故や病気等による緊急事態があった場合の選手または監督・コーチ等の変更は、大会開催日の開会式開始時間までに所属する協会体育部長に変更届を提出すること。（選手変更届、監督・コーチ変更届の形式は別掲の様式1、様式2の通り）なお、緊急事態の場合の参加費の追徴はしないものとする。但し、変更によって参加することになった選手または監督・コーチは、個人参加申込書、参加誓約書を所属する協会体育部長に提出したうえ、近畿ろうあ連盟体育部登録料を納めなければならない。

8. 表彰

(A) 団体戦について

- ① 団体戦の優勝旗・杯・準優勝盾（軟式野球のみ）は持ち回りとする。
- ② 優勝旗・杯（軟式野球のみ準優勝盾も）の返還の際、前回優勝記念レプリカ（軟式野球の場合、準優勝記念レプリカも）を授与する。
- ③ 賞状は、優勝、準優勝、3位チームに授与する。（3位決定戦を行う場合に授与する。）

④メダルは、優勝、準優勝、3位チーム全員に授与する。(3位決定戦を行う場合に授与する。)

競技種目		優勝旗	優勝杯	準優勝楯	準優勝杯	3位杯
軟式野球		○	×	○	×	×
卓球団体戦	男子	×	○	×	×	×
	女子	×	○	×	×	×
バレーボール	男子	×	○	×	×	×
	女子	×	○	×	×	×
ゲートボール		×	○	×	×	×
ボウリング 団体戦	男子	×	○	×	×	×
	女子	×	○	×	×	×

(B) 個人戦について

卓球、テニス、ボウリング競技の個人戦の優勝、準優勝、3位の者に、賞状及びメダルを授与する。なお、ボウリング競技については4～6位までの者に賞状を授与する。

(C) ダブルス戦について

卓球、テニスの男子、女子、混合の各ダブルス戦の優勝、準優勝、3位の者に、賞状(連名記入したものを2枚ずつ)およびメダル(2個ずつ)を授与する。

(D) 軟式野球の個人賞については、最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、最優秀打者賞、敢闘賞を授与する。

(E) バレーボールの個人賞については、男女とも、最優秀選手賞、スパイク賞、サーブ賞、レシーブ賞、敢闘賞を授与する。

(F) ボウリングの個人賞については、男女とも、最高得点者(12ゲームの内の1ゲーム最高得点)にハイゲーム(HG)賞を授与する。男女とも、全得点最高優秀者(3ゲームの合計最高得点者)ハイシリーズ(HS)賞を授与する。

9. 大会参加申込・連絡先

第43回近畿ろうあ者体育大会実行委員会事務局

〒650-8691

兵庫県神戸市中央区相生町2丁目2番8号 新神戸ビル東館2階

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会事務所内

FAX (078) 371-0277 / TEL (078) 371-5613

MAIL : info@hyogodeaf.com

【代金振込先】

ゆうちょ銀行 14340-63670851

コウエキシャダンホウジンヒョウゴケンチョウカクショウガイシャキョウカイ

(公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会)

10. 各競技実施要項

1. 軟式野球

- (1) 競技種目
軟式野球競技とする。
- (2) 競技規則
大会開催年度全日本軟式野球連盟公認規則および（財）全日本軟式野球連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項による。
- (3) 出場資格
 - ①近畿ろうあ連盟加盟団体会員で、近畿体育部登録したものによって編成されたチームとする。
 - ②各府県より1チーム以上参加できるが、同一府県の参加チームが多くて競技運営に支障をきたす場合は、その府県でチーム数を調整しなければならない。
- (4) チームの編成
 - ①チームの編成は、監督、コーチ、マネージャーを含めて20名以内とする。
 - ②監督またはコーチが選手を兼ねる場合は、20名の範囲内で登録されていなければ選手として出場できない。（注意：申込書（登録）備考欄に監督、コーチとして記載とする）
 - ③背番号は監督30番、コーチ29番、主将10番とし、選手は0番から28番とする。
- (5) 競技方法
 - ①試合形式は参加チーム数により、リーグ戦かトーナメント戦どちらを用いるかを主管団体が決定する。
 - ②試合（3位決定戦を含む）を7イニング制とする。但し、規定の回数までに勝負が決しない場合は、特別延長方式を適用する。
 - ③決勝戦は、点差の多少にかかわらず7イニングとする。延長は9イニングまでとする。なおかつ勝負が決しない場合は、特別延長方式を適用する。
 - ④試合時間については時間制を採用し、1時間40分を経過した場合には新しいイニングには入らないものとする。但し、決勝戦は時間無制限とする。
 - ⑤使用球は、全日本軟式野球連盟公認A号ボールとし、メーカー等は主管団体において決定する。
 - ⑥本大会参加チームが2チーム以下の場合、決勝戦試合形式とする。
- (6) コールドゲーム
 - ①試合の時間を1時間40分とし、1時間40分を過ぎて新しいイニングには入らないものとする。よって、1時間40分を正式試合の時間とし、試合は成立したものとする。また、ゲーム中断等によるロスタイム等の計測については、担当審判員の判断により実施するものとする。
 - ②4回以降7点差が生じた場合は、コールドゲームとする。但し、決勝戦は点差によるコールドゲーム制は採用しない。
 - ③日没、降雨、その他の事情によりプレーヤーが危険にさらされる恐れのある場合、コールドゲームとする。これは、次のとおりとする。
 - ④4回あるいはそれ以上のイニングを終了している場合。
 - ⑤4回裏の後攻チームが攻撃中であっても、後攻チームが先攻チームより多くの得点を得た場合および同点の場合。なお、同点の場合は、抽選によって勝負を決する。

⑥コールドゲームの得点は、最後の均等回終了時の得点による。但し、その最終回が未了であっても、後攻チームが先攻チームより多くの得点を得ている場合および同点の場合は、均等回の終了を要しない。

(7) 特別延長方式

①継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、2塁・3塁の走者は、順次前の打者(投手を含む)として、1死満塁の状況により1イニング行ない得点の多いチームを勝者とする。

②特別ルールによる延長戦を実施しても勝敗が決しない場合は、抽選により勝敗を決定する。

(8) 用具等

①打者・走者・ベースコーチはヘルメットを着用しなければならない。

②守備中の捕手は、ヘルメット、プロテクター及びレガースを着用しなければならない。

(9) 組合せ抽選

①監督、主将会議において組合せ抽選を行なう。本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は、同会議における受付順とする。

(10) 表彰

①決勝戦終了後、閉会式にて行なう。団体表彰は、優勝、準優勝(3位決定戦を行う場合は3位も)とし、個人表彰は最高殊勲選手賞、最優秀投手賞、最優秀打者賞、敢闘賞とする。

②最優秀打者賞は決勝戦進出2チームの全試合を対象とし、規定打席を設けて選考する。

(11) その他

①試合中にベンチに入ることのできる者は、登録された監督・コーチ・選手のほか、チーム代表者1名、スコアラーまたはマネージャー2名以内とする。ただし、スポーティな服装、野球帽子を着用しなければならない。

②試合開始予定時刻30分前に会場に集合すること。集合時間に遅れたチームは、原則として棄権したものとみなす。

③ベンチは、組合せ番号の若いチームを1塁側とする。

④シートノックは5分間とする。但し大会運営上、中止または短縮する場合がある。ノッカーもユニフォームを着用すること。

⑤ユニフォーム、帽子については、同一チームの選手の同色、同衣装で統一された品位のあること。

⑥裾幅の広い形状のパンツ『俗称：ダボパン』は、スパイクに引っ掛けるなど危険が危惧されるため着用禁止とする。

(12) 本競技実施要項の改正

2010年11月1日 一部改正

2011年11月23日 一部改正

2. 卓球

(1) 競技種目

団体戦：男子団体、女子団体

個人戦：男子シングルス、女子シングルス

ダブルス戦（男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス）

(2) 競技規則

大会開催年度の日本卓球ルール及び本大会申合せ事項による。

(3) 出場資格

①団体戦について

チーム編成は、男子の場合3～6名まで、女子の場合2～5名までとする。

チームスタッフ、監督、コーチ、マネージャー各1名を登録することが出来る。

加盟団体よりチーム編成が出来ない場合、チーム編成が出来ない異なる加盟団体とチームを作ることができる。

②シングルス戦、ダブルス戦について

シングルス戦、ダブルス戦は参加制限しない。

ダブルスペア編成については原則として地元優先であること。

しかし、加盟団体チーム内での人数によってダブルスのペアが組めない場合、異なる加盟団体の選手と組むことが出来る。

(4) 競技方法

①団体戦は参加数により、以下の方法で行う。

但し参加状況により競技方法を変更することがある。

・5チーム以上の場合、いくつかのブロックに分けた予選リーグ戦とし、各ブロック1位、もしくは1、2位チームがトーナメント戦出場とする。但し、会場や時間などの都合により参加状況によってはトーナメント戦になることもありえる。

・4チーム以下の場合、総当りリーグ戦とする。

②リーグ戦の順位決定は勝者2点、敗者1点、棄権0点で得点計算をして決定する。

（現行日本卓球ルールによる）

③勝敗の決定（団体戦）は、各11点5ゲームマッチ（3ゲーム先取勝）とする。

④団体戦は、男女とも、1番シングルス、2番シングルス、3番ダブルス、4番シングルス、5番シングルスの5試合で3試合を先取したチームが勝ちとなる。

・男子団体戦組合せ方法

・女子団体戦組合せ方法

（3名による4シングルス1ダブルス）（2～4名による4シングルス1ダブルス）

A	B	BC	A	C	
X	Y	Z	X	Y	Z

A	B	W	A	B
X	Y	W	Y	X

⑤個人戦、ダブルス戦ともトーナメント方式で行う。但し、参加状況により競技方法を変更することがある。11点5ゲームマッチ（3ゲーム先取勝）にて行う。

⑥ダブルス戦で、男子は男子ダブルス戦、混合ダブルス戦は、いずれか1種目のみ選択すること。女子は女子ダブルス戦、混合ダブルス戦、両方参加する事が出来る。

⑦タイムアウト適用については、競技主管で決定するものとする。

(5) 申し合わせ事項

- ①競技者の半袖シャツ、ショーツ、スカートは、JTТА の公認マーク付きのものを使用してください。
- ②半袖シャツは団体戦やダブルス戦の場合、全ての試合において、チーム又はパートナーは同一の柄の半袖シャツ着用とすること。ショーツは同色であれば、よいとする。
- ③ゼッケンは、JTТА公認のゼッケンか、下図の様式の通り作成し、背部に着用すること。

縦 21 cm

横 28 cm

氏 名
府 県 名

- ④会場及び時間の都合、または参加チーム及び選手が多いあるいは少ない場合、試合方式を変更することがあります。(場合によっては中止することもある)
- ⑤試合中のアドバイスについてはアドバイザー 1 名のみベンチに入れる。(アドバイザーは競技者と共にベンチに入れること)

(6) 使用球

ボールは JTТА公認の 40 ミリボールを使用する。

(使用球のメーカーは主管協会が決めるものとする。色は白とする。)

(7) 組み合わせ方法

- ①団体戦の組み合わせは、監督・主将会議において、実行委員会と競技主管団体、技術委員、審判長の立会いのもとで、抽選により決定する。
- ②個人戦とダブルス戦の組み合わせは、①と同様のもとで、抽選により決定する。
- ③シードは下記の通りとする。シード並びは現行日本卓球ルールに従うこと。
男女団体戦…前回優勝、準優勝チーム
男女個人戦…前回ベスト 4 まで
男女混合ダブルス…前回優勝、準優勝チーム (但しパートナーの変更は不可)
個人戦…各種目ともひとつのエリアに同じブロック選手、または同じ加盟団体選手が集中しないよう、配慮すること。

(8) 表彰

- ①団体戦は優勝チームに優勝カップ・賞状・メダルを、2 位・3 位チームには賞状・メダルを授与する。
- ②個人戦とダブルス戦は、1 位から 3 位までに賞状・メダルを授与する。
- ③競技終了後、表彰式を行う。

(9) 注意事項

- ①ダブルス同意書は、参加申込みと同様、通常締め切りとする。
- ②競技進行はタイム・テーブルによって行うので、各自の出場時間及びコートを予め確認しておくこと。しかし進行の都合で試合予定のコートや時間を変更することがありますので、その場合、競技者は競技役員の指示に従ってください。
- ③団体戦のオーダーは、第 1 試合は試合開始時間の 10 分前、第 2 試合以降は対戦チームが決定次第直ちに提出すること。
- ④その他については、大会本部又は競技役員の指示に従うこと。

(10) 本競技実施要項の改正

2009年11月1日	一部改正
2011年11月23日	一部改正
2016年 1月31日	一部改正

3. バレーボール

(1) 競技種目

バレーボール競技（男子及び女子の2種目）とする。

(2) 競技規則

- ①当年度の（公益財団法人）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- ②使用球は、（公益財団法人）日本バレーボール協会検定5号球カラーボールを使用する。
※男子はミカサMVA300、女子はモルテンV5M5000とする。
- ③ネットの高さは、男子（2m43cm）、女子（2m24cm）とする。

(3) 出場資格

男女とも、2チーム以上可能、加盟団体単位でチームを編成できない場合は近畿ブロック内に限り、連合チームを編成することができる。方法として単独チームを組むチームに加入、また単独チームを編成できない加盟団体同士がチームを組むこと可能。この場合、後者については、連合であることが明確なチーム名にすること。

(4) チームの編成

- ①1チームの人数は、監督、スタッフ（コーチ、マネージャーなど）3名、選手14名以内計17名以内とする。
- ②選手14名のうち、リベロ・プレイヤーは2名まで登録できる。
- ③監督、コーチまたはマネージャーが選手を兼ねる場合は、選手登録名簿に記載しておくこと。

(5) 競技方法

- ①競技は、トーナメント方式によるものとする。但し、参加チームが少ないときは、監督・主将会議にて確定とする。
- ②全試合3セットマッチとする。
- ③参加チームが2チームになった場合は5セットマッチとする。

(6) 組み合わせ

組み合わせは、監督・主将会議において抽選により決定する。男女とも前回優勝・準優勝チームはシードする。

(7) 表彰式

- ①表彰式は決勝戦終了後に行う。
- ②統一服装で参加すること。

(8) 注意事項

- ①試合開始前・セット間及び終了後の手順は別表プロトコールのとおりとする。
- ②試合開始は、特に時間の指定のあるものを除き、追い込み方式で行う。なお、同チームの試合が連続する場合は15分間の休憩の後プロトコールに入る。
- ③オーダー用紙は、キャプテンがトスをするとき提出する。
- ④公式練習からはエントリーされた者だけが競技場に入場できる。

⑤負傷の原因となるピン、指輪、腕輪、かぶりもの、その他金属装身具等を身につけて競技してはならないが、眼鏡は自分の責任において使用する。

⑥主将は、ジャージ色と異なった色の幅2cm、長さ8cmのマークをユニフォームの胸部の番号の下に明確に付けること。

⑦監督・コーチ・マネージャーは下記のマークを左胸部に付けること。マークの大きさは直径6cm程度で各チームが準備すること。



(9) 本競技実施要項の改正

2009年11月1日 一部改正

2011年11月23日 一部改正

2012年11月23日 一部改正

2016年 1月31日 一部改正

4. テニス

(1) 競技種目

1部・2部ごとに分けて、下記種目を行う。

1部 シングルス戦 : 男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦 : 男子ダブルス・女子ダブルス

2部 シングルス戦 : 男子シングルス・女子シングルス

ダブルス戦 : 男子ダブルス・女子ダブルス

※但し、参加状況により1部・2部を統合する場合がある。

(2) 競技規則

大会開催年度の(財)日本テニス協会のテニス競技規則及び本大会申合せ事項(以下「J T A 競技規則」)によるものとするが、監督主将会議にて協議の上、変更、追加する場合がある。

(3) 出場資格

- ① 出場人数について、加盟団体毎に制限を設けない。
- ② 1部は無制限だが、2部はシニア(男女45歳以上)またはテニス経験2年以下の初心者が望ましい。
- ③ 選手は1部と2部のどちらかに出場し、両方同時出場はできない。
- ④ 1部、2部とも、シングルス・ダブルスの単数、複数出場はできる。
- ⑤ シングルス2部でエントリーした選手が1部の選手と組む場合、その選手についてシングルスは2部、ダブルスは1部に出場とする。
- ⑥ ダブルスペア編成については、原則として所属加盟団体内でのペアを組むものとする。但し、奇数人数により所属加盟団体内でのペアが組めない場合は、異なる加盟団体の選手と組むことが出来る。

(4) 出場選手規定

- ① 出場者は集合の定刻までに来場し、本部に届け出ること。定刻に遅れた選手、ペアは失格する。
- ② 試合は本部から発表されたオーダーオブプレーに従い、遅滞なく続けなければならない。
- ③ 試合の遅刻による反則点等は、J T A 競技規則による。
- ④ ウォーミングアップは第1戦目と決勝戦のみ3分以内とする。それ以外の試合はサーブ4本のみとする。但し、天候、試合の進行状況等によっては変更する場合がある。

- ⑤服装とシューズについては、原則 JTA 競技規則に従うものとするが、監督・主将会議にて協議し変更する場合がある。
 - ⑥けいれん等の怪我や体調不良による試合の中断は、J T A 競技規則によるものとする。
 - ⑦傷害等の応急措置は、主催者側で行うが、その後の責任は主催者側では負わない。
 - ⑧試合の勝者は、その試合で使用したボールを敗者に授与し、試合の記録と結果を本部に届けることとする。
- (5) 競技方法
- ①各種目ともトーナメント方式とする。但し、天候状況、参加状況、試合の進行状況によっては変更する場合がある。
 - ②各種目とも1セットマッチ6ゲーム先取。6-6オールでのタイブレークは7ポイント先取とする。
 - ③公認ボール（ダンロップ・フォート、イエロー）を使用する。
 - ④テニスコートは原則オムニとするが、コート事情によりこれに限らない。
 - ⑤各種目とも決勝戦のみ主審・副審をつけることとする。
 - ⑥基本的に1日目はダブルス戦、2日目はシングルス戦とするが、天候等によりこの限りではない。
- (6) 組み合わせ
- ①参加申し込み締め切り後、監督主将会議において、実行委員と技術委員、審判長立ち会いのもとでの抽選により決定する。
 - ②1回戦は同クラブ同士の対戦とならないように配慮を行なう。
- (7) 天候等による規定
- ①天候等による試合方式の変更及び中止の決定は、大会本部（常任委員と審判員又は技術委員）とする。
 - ②天候等により試合が延期・中止になった場合は一日のみ延期日を設けるが、その場合はシングルスを優先とする。
- (8) 表彰
- 各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。但し、天候等によりこの限りではない。
- (9) その他
- 上記以外の規定は大会本部の指示に従うこと。
- (10) 本競技実施要項の改正
- | | |
|-------------|------|
| 2010年11月1日 | 一部改正 |
| 2011年11月23日 | 一部改正 |
| 2012年11月23日 | 一部改正 |
| 2016年 1月31日 | 一部改正 |

5. ゲートボール

- (1) 競技種目
- ゲートボール競技とする。
- (2) 競技規定
- 大会開催年度（財）日本ゲートボール連合公式競技規則並びに審判実施要項とする。
- (3) チーム数
- 各加盟団体から何チームでも出場可。

(4) チーム編成

1チームは、監督1名、競技者5名以上8名以内とし、その内1名を主将とする。但し、監督は専任とし、競技者を兼ねることはできない。また、監督がいなくてもチームは成立する。なお、年齢・性別は不問制限しない。

(5) 試合方法

リンク戦で行う。(但し、試合形式は監督・主将会議において確定する)

(6) 競技方法

- ①監督、主将のみコート内の自チームの競技者に指示を与えることができる。
- ②競技する競技者は、打者番号を胸部および背部に付けなければならない。
- ③競技は、チーム対抗で1チーム5名ずつの競技者によって行なう。
- ④両チームの主将は、競技開始前にジャンケンを行ない、その勝者が先攻、後攻を選択する。
- ⑤先攻のチームは赤色(奇数番号)のボールを、後攻のチームは白色(偶数番号)のボールを持つものとする。
- ⑥競技の打順は、ボールに記された1番から10番までの番号とする。打順を誤順、他球を打った場合は打撃違反となり、移動した球は打撃時の位置に戻される。
- ⑦競技者は、最初のコールまたは継続プレーの権利が発生した時から10秒以内にボールを打撃しなければならない。10秒以内に打撃またはスパーク打撃をしなかった場合は反則となり、オーバータイムとする。
- ⑧交替競技者は2名までとし、オーダー表提出後、それぞれ1回に限り交替することができる。
- ⑨競技者の交替は、当該打順の通告を受けた時、競技者が競技開始前、競技中、打順通告する前までの交替は主将が審判員に申し出る。交替違反は退出、ボールは移動前の位置へ戻す。
- ⑩競技開始時に競技者が5名いない場合は棄権とし、競技を没収して、相手チームの勝ちとする。その場合は不戦勝とし、得点は8対0とする。
- ⑪審判員に競技を行なうよう命じられたにもかかわらず拒んだときは、競技拒否とみなしてその競技を没収し、相手チームの勝ちとする。
- ⑫正当でない競技者を出場させたときは不正出場とし、その競技は没収され、相手チームの勝ちとする。
- ⑬順位の決定方法は次の通りとする。
 1. 勝敗 2. 得失点差 3. 高得点
- ⑭同位同点の場合のゲート戦は、特設コートで実施する。
- ⑮ゼッケン、監督・主将腕章は各チームで用意すること。
- ⑯天候の判断は大会本部(常任委員と審判員)で決定とする。

(7) 本競技実施要項の改正

2011年11月23日 一部改正

6. ボウリング

(1) 競技種目

- ①個人戦：男子個人戦、女子個人戦
- ②団体戦：男子団体戦、女子団体戦

(2) 競技規定

- ①大会開催年度のJBC（財団法人全日本ボウリング協会）規則を準用する。
- ②大会中の競技運営については、競技委員長または競技委員に従うこと。

(3) チーム編成

- ①府県より、男女とも何チームでも出場可。
- ②男子団体は1チーム4名、女子団体は1チーム3名とする。
- ③個人戦：何人でも可。
- ④H/Dは男女とも50歳以上5P、60歳以上10P、70歳以上15P、80歳以上20P、高校生15Pとする。

但し、ハイゲーム、ハイシリーズの場合は予選のみを対象とし、スクラッチの得点にて決定する。年齢ハンディの基準日は開催年度4月1日付満年齢とする。

- ⑤団体戦で自チームが定員に満たない場合、当該ブロックの加盟団体から男子は2名まで、女子は1名まで補充できる。

(4) 競技方法

- ①団体戦、個人戦とも男子・女子各12ゲーム（団体前半3ゲーム、後半3ゲーム、個人前半3ゲーム、後半3ゲーム）を行なう。
- ②個人戦決勝進出は、男子の場合トータルピン上位12名、女子の場合上位6名とする。決勝戦は、男女とも3ゲームを行ない、15ゲームのトータルピンで順位を決定する。
- ③団体戦は、男子の部（1ゲーム4名）1人6ゲーム計24ゲームで合計得点により順位を決める。女子の部は（1ゲーム3名）1人6ゲーム計18ゲームで合計得点により順位を決める。

(5) 表彰

各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。

(6) スタート、ゲームセットについて

- ①スタートの合図時に練習時間に遅れた場合は棄権とみなす。
- ②スタートの合図時に遅刻した場合は失格とする。
- ③スタートの合図は緑色、ゲームセットは赤色の旗を用いる。

(7) スコアの確認

各ゲームのスコアをスコアカードに記載し提出する際、次のことに注意すること。

- ①選手自身がサインしなければならない。
- ②スコアの誤記、誤算が発見された場合は、本人の確認サインがあっても本人を呼び出し、訂正の承認をとり確定する。但し、競技会の進行上、呼び出し後5分以上は待たず、本人の承認以前に記録委員長が確定することがある。

(8) 使用ボールについて

- ①ボールラックには使用ボール1個までとする。
- ②ボールラックが狭い時は、ラックの下に置くこと。
- ③参加選手はマイボールを使用すること。
- ④ボールにテープ類の付着等、投球に有利な工作をした場合は失格とする。
- ⑤競技中のボールの破損、損傷については主催者も会場責任者も責任は負わない。

(9) タイスコア

タイスコアの場合は、次のとおりとする。

(A) その時点におけるシリーズのハイ、ローの差の少ない方を上位とする。

(B) その時点におけるゲームのハイ、ローの差の少ない方を上位とする。

(10) 競技服装等

①ユニフォーム着用を義務とする。着用なしは失格とする。またスポーツにふさわしくない服装、ハチマキなどは認めない。

②ユニフォームには都道府県名と名前を背部に必ず記入すること。

③団体戦の選手は、全員同じユニフォームを着用すること。

(11) 競技中の禁止事項

(ボウラースベンチ内及びコンコース)

①アプローチパウダーその他の物の使用、アプローチの状態の変更は禁止する。

②応援者との雑談、他選手へのアドバイス（但し団体戦で自チーム内は可）、喫煙、飲食、補聴器装着や携帯電話の使用、出場選手と監督と役員以外のボウラースベンチ内への立ち入り等は禁止する。

(12) その他

①メンバー及び投球順の変更は、所定用紙にて監督・主将等合同会議の終了までに提出すること。以降変更は出来ない。

②レーン割当は大会参加申込締切日以降、実行委員会において抽選により行う。レーンの変更はマシントラブル以外は認められない。

③ファールは次の投球者に移るまでとし、判定機故障により生じたと見られる場合は、競技委員が裁定する。

④BOX内にパフボウルの持ち込みを厳禁とする。

⑤競技に対する抗議は監督のみとする。

⑥スロー行為は注意することがある。

⑦競技会場へのボールの搬送等に関しては、実行委員会の定めるとおりとする。

⑧競技中トラブルが発生したときは、競技を一時中断し、競技委員の指示に従うこと。

⑨その他の事項で疑義が生じた場合は、大会競技委員長においてこれを協議裁定する。

(13) 本競技実施要項の改正

2010年11月1日 一部改正

2012年11月23日 一部改正

7. フットサル

(1) 競技種目

フットサル競技（男子および女子の2種目）とする。

(2) 競技規定

大会開催年度の（公益財団）日本サッカー協会規定の「フットサル競技規則」及び本大会申合せ事項による。

(3) チーム編成

①加盟団体単位に編成したチームとする。ただし、加盟団体単位にチームを編成できない場合は、連合チームを編成することができる。

②1チームの編成は男女とも、監督・コーチ・マネージャーを含めて13名以内とし、最大5名までの交代要員を置くことができる。

(4) 競技方法

①競技は2チーム以上の参加により実施する。原則的にノックアウト方式により優勝以下3位までを決定する。ただし、出場が少ない場合はリーグ戦とすることがある。試合時間は前、後半ともに10分間とし、ハーフタイムのインターバルは3分とする。ノックアウト方式については、勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。ただし、決勝戦のみ前、後半5分の延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合はPK方式により勝者を決定する。

(5) リーグ戦の順位決定について

- ①勝ち点の合計（勝ち3点、引き分け1点、負け0点）
- ②得失点差の多い順
- ③当該チーム間の対戦成績
- ④抽選

(6) 使用球

試合球は（公益財団）日本サッカー協会公認フットサル用ボールとする。

(7) 組み合わせ抽選

監督主将会議において、抽選を行う。本抽選のくじ引き順を決める予備抽選は、同会議への出席受付順とする。

(8) 競技者の交代

交代については、試合開始前に登録した5名の交代要員の中から交代が認められる。交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、いつでも行うことができる。競技者と交代要員が代わる場合、次の条件が遵守されなければならない。

- ①他にフットサル競技規則に規定されていない限り、ピッチから出る競技者は、自分のチームの交代ゾーンから出る。
- ②交代要員は、交代する競技者がピッチの外に出てから入る。
- ③交代要員は、交代ゾーンからピッチに入る。
- ④交代は、交代要員が交代ゾーンからピッチ内に入ったときに完了する。
- ⑤交代して退いた競技者は、その試合に再び参加することができる。
- ⑥いずれの交代要員も、主審、第2審判に通知することなく、また試合の停止を待つことなく、ゴールキーパーと入れ代わることができる。いずれの競技者も、ゴールキーパーと入れ代わることができる。

(9) 審判の合図

フリーキック、PK、プレースキックで、キッカーに蹴られるタイミングを知らせる笛の代わりに、笛がなり始めてから終わるまでの間、主審は片手を前に水平に伸ばして示すものとする。

(10) 表彰

表彰は決勝戦終了後、閉会式にて行う。

個人表彰は、「最優秀選手賞」（1名）・「優秀選手賞」（ベスト4のチームから各1名）とし、選考は競技主管である開催地のサッカー協会が行う。

(その他)

上記以外の規定は大会本部の指示に従うこと。

【様式1】登録選手変更届

2016年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名 _____ ⑩

体育部長 氏名 _____ ⑩

チーム監督 氏名 _____ ⑩

登録選手変更届

第43回近畿ろうあ者体育大会 _____ 競技の登録選手を、
下記の通り変更しますので、ここにお届けいたします。

【登録抹消】氏名 _____ (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 _____ 番

守備位置 _____

【新規登録】氏名 _____ (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 _____ 番

守備位置 _____

以上

【提出先】

監督主将会議開始時間までに、個人参加申込書及び誓約書、大会参加料および近畿ろうあ連盟体育部登録料を添えて、所属協会体育部長へ提出すること。
所属協会体育部長は実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを保管すること。

【様式2】監督・コーチ変更届

2016年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名 _____ ⑩

体育部長 氏名 _____ ⑩

チーム監督 氏名 _____ ⑩

監督・コーチ 変更届

(↑どちらかを○で囲んでください)

第43回近畿ろうあ者体育大会 _____ 競技の監督・コーチを、
下記の通り変更しますので、ここにお届けいたします。

【登録抹消】氏名 _____ (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 _____ 番 (聴障者・健聴者)

【新規登録】氏名 _____ (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 _____ 番 (聴障者・健聴者)

以上

※背(ゼッケン)番号を要する場合、必ず記入すること。

※監督が選手兼任の場合、登録選手変更届も一緒に提出すること。

【提出先】

監督主将会議開始時間までに、個人参加申込書及び誓約書、大会参加料および近畿ろうあ連盟体育部登録料を添えて、所属協会体育部長へ提出すること。
所属協会体育部長は実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを保管すること。

【様式3】代理届（監督主将会議の委任状）

2016年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名 _____

監督・主将 氏名 _____ ⑩

※どちらかを○で囲んでください

委任状

第43回近畿ろうあ者体育大会 _____ 競技の監督主将会議に
出席できないため、次の者を代理人に指名し、権限を委任します。

チーム名 _____

氏 名 _____ (男・女)

↓

代理人氏名 _____ (男・女)

以 上

【提出先】

監督主将会議の前日までに、所属協会体育部長へ提出すること。

所属協会体育部長は、実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを保管すること。

【様式4】選手追加届

2016年 月 日

近畿ろうあ連盟 体育部長 殿

所属協会名 _____ ⑩

体育部長 氏名 _____ ⑩

チーム監督 氏名 _____ ⑩

選手追加届

第43回近畿ろうあ者体育大会 _____ 競技の登録選手を、
下記の通り追加しますので、ここにお届けいたします。

【追加登録】氏名 _____ (男・女) (年齢 歳)

背(ゼッケン)番号 _____ 番

守備位置 _____

住 所 _____

生年月日 _____

以 上

【提出先】

監督主将会議開始時間までに、個人参加申込書及び誓約書、大会参加料、
近畿ろうあ連盟体育部登録料を添えて、所属協会体育部長へ提出すること。
所属協会体育部長は実行委員会事務局へ即提出し、その控えコピーを保管する
こと。

【様式5】ダブルス組み合わせ同意書

2016年 月 日

第43回近畿ろうあ者体育大会
実行委員会事務局 殿

所属協会名 _____ (印)

事務局長 氏名 _____ (印)

体育部長 氏名 _____ (印)

選手 氏名 _____ (印)

ダブルス組み合わせ同意書

第43回近畿ろうあ者体育大会 _____ 競技のダブルス戦に、
下記選手と組み合わせることをここにお届けいたします。

1. 出場するダブルス種目 ※どれかひとつに○で囲んでください

- ① () 男子ダブルス戦
- ② () 女子ダブルス戦
- ③ () 混合ダブルス戦

2. 組み合う選手

フリガナ

氏名 _____ (男・女) (年齢 歳)

所属協会名 _____

組み合う選手の大会参加申し込み等は、本人の所属協会を通して行ないます。

以上

【提出先】

4月4日(月)の参加申込締切日までに、所属協会体育部長へ提出すること。
FAXによる提出や、参加申込締切日を過ぎての提出は認めない。
所属協会体育部長は、組み合う選手の所属協会体育部長へコピーを送ること。